

ちょっと気になる八王子マガジン

は ち と ひ



2020年 涼風号

No.45

Take Free

〈ご自由にお持ちください〉



地名「八王子」の由来となった八王子神社

特集

わがまち八王子
探訪シリーズ

「元八王子」

元八王子地域を深〜く知る！ その1

“陣馬街道 水と歴史探索コース”
水無瀬橋〜切り通し

元八王子地域を深〜く知る！ その2

“高尾街道 北条氏照探究コース”
四谷交差点〜八王子城跡

元気印の市民団体紹介

コラム 八王子の民俗誌①

コラム 八王子の原風景①

私の本はこうして生まれた 其の四十五

NPO法人 八王子城跡三ッ鱗会

貴重な石造物の保存を〜貞和4年銘の石造物 佐藤 広
谷地川流域を訪ねて 2 馬場喜信

『八王子城主北条氏照の物語 ― 霊鐘姫の愛と共に生きた若き日々』前川 貴 著

深～く

元八王子地域を知る！ その7

陣馬街道 水と歴史探索コース

八王子探訪シリーズの第5回は元八王子地域。南浅川に架かる水無瀬橋から陣馬街道沿いを歩いて切り通しまでを目指すルートと、四谷交差点から八王子城までの高尾街道沿いを巡る2つのルートを設定しました。八王子のルーツともいえる、元八王子地域の歴史に触れてみます。

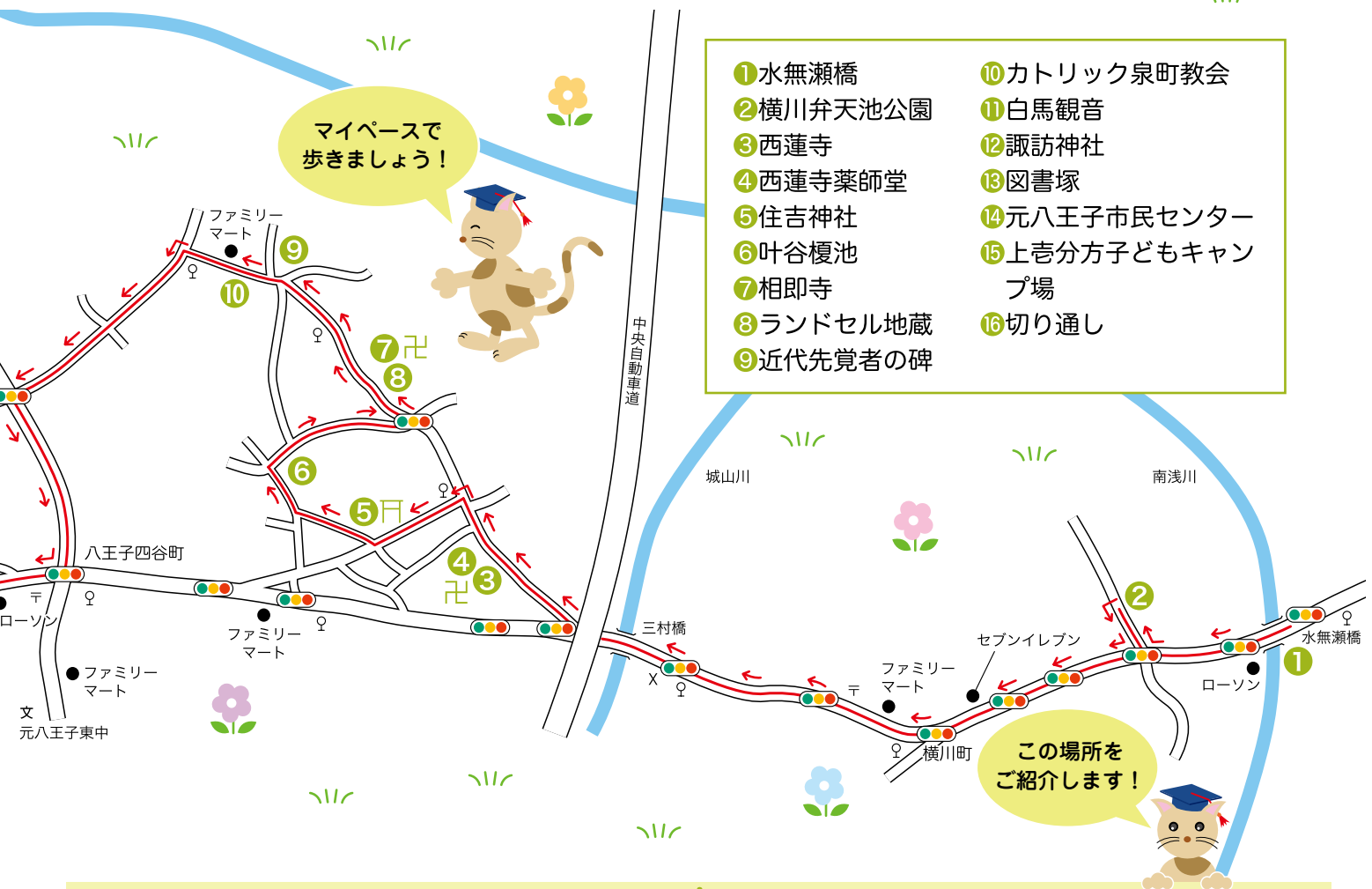
はちとぴ
観光★
——特撰——



マイペースで
歩きましょう！



- | | |
|----------|-------------------|
| ①水無瀬橋 | ⑩カトリック泉町教会 |
| ②横川弁天池公園 | ⑪白馬観音 |
| ③西蓮寺 | ⑫諏訪神社 |
| ④西蓮寺薬師堂 | ⑬図書塚 |
| ⑤住吉神社 | ⑭元八王子市民センター |
| ⑥叶谷榎池 | ⑮上壱分方子どもキャン
プ場 |
| ⑦相即寺 | ⑯切り通し |
| ⑧ランドセル地蔵 | |
| ⑨近代先覚者の碑 | |



②横川弁天池公園



湧水池のある公園。池の中には入れないが、水を近くに感じ、楽しむことができる。近年は湧き水が減ってきたが、かつては池のほとりに祠があり、周辺でワサビが栽培されるほどの清流があった。健康遊具もあり。（はちとぴ13号参照）

昔は大雨でなければ流れる水がなく、「水無し河原」と呼ばれていた。1889（明治22）年に木橋が架設された際に「水無瀬橋」と名付けられた。幾度かの出水で流出した後1933（昭和8）年にコンクリート橋になった。

①水無瀬橋



◎「元八王子」の縁起

八王子市の中西部に位置する元八王子地域。かつての大楽寺村、下壱分方村、上壱分方村、横川村、川村、式分方村、元八王子村が1889（明治22）年に合併して元八王子村となりました。

戦国時代末期、北条氏照は滝山城を離れて新しく城を築くにあたって、城の守護神として八王子権現社を祀りました。これが八王子城の語源となり、その城下町としてこの地は「八王子」と称されました。八王子城下には横山・八日市・八幡の三宿がありました。1590（天正18）年6月23日に八王子城は1日で落城してしまいました。その後、八王子の宿は盆地に移転し、江戸時代に整備された甲州街道の宿駅として横山十五宿が形成されていきました。

やがて町並みの発展とともに、甲州街道沿いの宿が「八王子宿」と呼ばれるようになり、「八王子」という地名が2か所存在することになりました。そこで、江戸時代に発展した八王子宿を「八王子」と呼び、城下町としての役割を終えた八王子を「元八王子」と呼ぶようになったのです。

また、元八王子地域は古くから水の湧き出る場所でした。かつては生活用水としても利用されていましたが、いまでも至るところに湧水があり、上流では蛸も飛び交います。一方で戦後になると、住宅が建ち並んで人口も急増。特に元八王子地域を横断する高尾街道は道幅も広くなり、チェーン店などが建ち並ぶようになりました。大きく発展しながらも自然が残された貴重な地域といえます。

水無瀬橋～切り通し



③西蓮寺



1429（永享元）年創建。のちにいまの叶谷町に移り、明治期に金谷寺と合併、1895（明治28）年に現在地に移転した。仁王門と薬師堂は金谷寺から引き継いだ。境内には鐘楼堂や弁財天、多氷屯倉（たひのみやけ）碑もある。

④西蓮寺薬師堂



室町時代末期の建立で、堂内安置の厨子とともに都の重要文化財。堂内には八王子城攻めの際、豊臣方軍勢が炊き出しで焦がしたといわれる跡がある。江戸時代初期のものと思われる厨子の中には本尊の薬師如来三尊があり、60年に一度開帳される。

⑤住吉神社



かつて辺りに大きな沼があり、鶯がこの神社の森に巣を営んだことから鶯森神社といわれた。1051（永承6）年に大阪の住吉大社を勧請、八王子城落城とともに焼失した。社殿は江戸時代に再興され、拜殿は1980（昭和55）年の造営。

⑥叶谷榎池



北に浅川、南に城山川が流れる叶谷町は、昔から湧水に恵まれていた。この湧水が浅川に注ぐ流れは、かつては「華川」と呼ばれ、蜚の名所として知られていた。樹齢数百年ともいわれる榎の大木の根元から、いまも水が湧き出る。

⑦相即寺



1546（天文15）年、忍誓上人によって創建。八王子城の北東方向に位置することから、城の鬼門除けとしての役割を担った。参道脇には台座を含めた高さ1.9mの青銅仏市文化財の銅製地藏菩薩坐像（通称万目供養仏）がある。

⑧ランドセル地蔵



相即寺境内に建立された地蔵堂には八王子城落城時の戦死者を弔うために作られた地蔵150体が祀られている。その中の1体が古世古和子氏によって紹介され、有名になったランドセル地蔵である。年3回開帳される。（はちとび14号参照）

⑨近代先覚者の碑



自由民権家の柏木豊次郎邸跡地だった泉町会館の敷地にある石碑。上部に「先覚之碑」と大きな文字で刻まれ、その下にはめ込まれたプレートにはこの地で活躍した先覚者8名の名が挙げられている。（はちとび40号参照）

⑩カトリック泉町教会



明治期にキリスト教の布教と自由民権運動にかかわっていた山上卓樹と山口重兵衛は、横浜から神父を招請し、1878（明治11）年に聖瑪利亜教会を創立した。多摩地域初のキリスト教会として、同年10月に開堂した。（はちとび38号参照）

ひと休み コラム

高尾の森わくわくビレッジ

高尾の森わくわくビレッジは、閉校した都立高陵高校の校舎を改修して2005（平成17）年にオープンした東京都の社会教育施設です。都のPFI施設（民間企業が運営にかかわる公共施設）として、京王グループと東京YMCAグループが共同で運営しています。

利用者は学校・青少年団体が8割。さまざまな学校行事や、高校生のクラス合宿、大学生のサークル・ゼミ合宿などでよく利用されています。このほかにも企業研修や子ども会の利用などもあるようです。

最大200名が宿泊することもでき、年間3万3千人の方が宿泊利用しています。青少年のための社会教育施設という位置づけでもあるため、一般的なホテルとは異なる性格を説明する必要がある、予約はネットではなくフロント、もしくは電話のみでの対応となります。館内には遊びや研修、スポーツなど、さまざまな目的に対応できる多彩な施設があり、カフェテリアスタイルのレストランも併設。ダンスサークルや柔道練習、料理、バンド演奏などでも利用されているほか、週末には屋外の原っぱで思い



◀原っぱのツリーハウス



1988（昭和63）年開設。会議室、和室、体育室のほか、地区図書室、調理室、音楽室を備える。福祉のつどい、センターまつり、文化祭、生涯学習活動などが展開され、元八王子地域のコミュニティ活動の拠点となっている。

14元八王子市民センター



もともと「仏法山浅間寺円乗院」という寺院だったが廃寺になり、その跡地に諏訪下町会館が建てられた。1693（元禄6）年に製作され、背面に像の由来を示す銘がある本尊の観世音菩薩坐像（通称白馬観音）が安置されている。

11白馬観音



1986（昭和61）年、東京天使病院の南西の隣地に開設したキャンプ場。広さは14043㎡。利用には市役所への申し込みが必要で、一度に200人までが利用できる。場内には桜、桑、栗、胡桃などの樹木が植えられている。

15上壱分方子どもキャンプ場



1126（大治元）年に信濃の諏訪大社を勧請したと伝えられる。戦国時代に北条氏照が社殿を再建したが、八王子城落城後、一時衰退。1623（元和9）年に再興。毎年8月26日、27日にはまんじゅう祭りを開催し、四谷龍頭の舞が舞われる。

12諏訪神社



陣馬街道が恩方地域にさしかかるところは左に急カーブしていて、切り通しと呼ばれる。南側の小高い丘の頂上には日枝神社が祀られ、崖下には陣馬街道の旧道がある。大正時代には自動車交通の便を図るために丘の裾を回る形で陣馬街道を迂回させた。

16切り通し



図書塚公園内にある石碑。明治から昭和初期にかけて活躍した教育者、平井鉄太郎は、私財を投じて青少年の教育のために大量の図書を手に入れたが、八王子空襲によって灰燼に帰してしまった。これを悼み、建立された。（はちとび40号参照）

13図書塚



思いに遊ぶ家族連れも多く訪れます。また、個人から団体向けまで体験できる100種類以上のプログラムを用意していて、特にキャンプファイヤーや飯盒炊さんなどが人気のようです。

青少年をメインターゲットとしています。

施設自体は老若男女だれでも使えます。

また、レストランではアレルギー対応

をしています。

バリアフリーの浴場も備えるなどして、

特別支援学校の方々の利用も増えているそうです。

「ここは青少年のための教育施設という性格もあるのですが、ご家族やお年寄りも含め、すべての方にとって居心地の良い場所になりたいと考えています」と語るのは、4月から館長となった菅野牧夫さん。多くの方に利用してもらえような施設を目指していることもあって、15年目を迎えた今でも、まだまだ使い方は無限大。高尾の森わくわくビレッジで、あなたなりの活用術を探してみてもいい。



◀研修室



▶宿泊施設

●高尾の森わくわくビレッジ

川町55

☎652-0911

開館時間 8:30~22:00

（活動施設の利用は9:00~22:00）

年中無休（定期点検や定期清掃などにより、宿泊・施設利用ができない場合あり）

※施設利用は、まずフロントで利用登録をしてから



▲野外炊さん場

深〜く

★元八王子地域を知る！ その2

高尾街道 北条氏照探究コース

はちとび
観光★
——特撰——



元八王子事務所跡にある、明治期に活躍した自由民権家、山口重兵衛の功績を称え、村の有志が建てた碑。山口は私利私欲を捨てて村会議員、県会議員（当時この地は神奈川県だった）として三十有余年尽くし、1916（大正5）年に60歳で没した。



② 山口重兵衛の碑

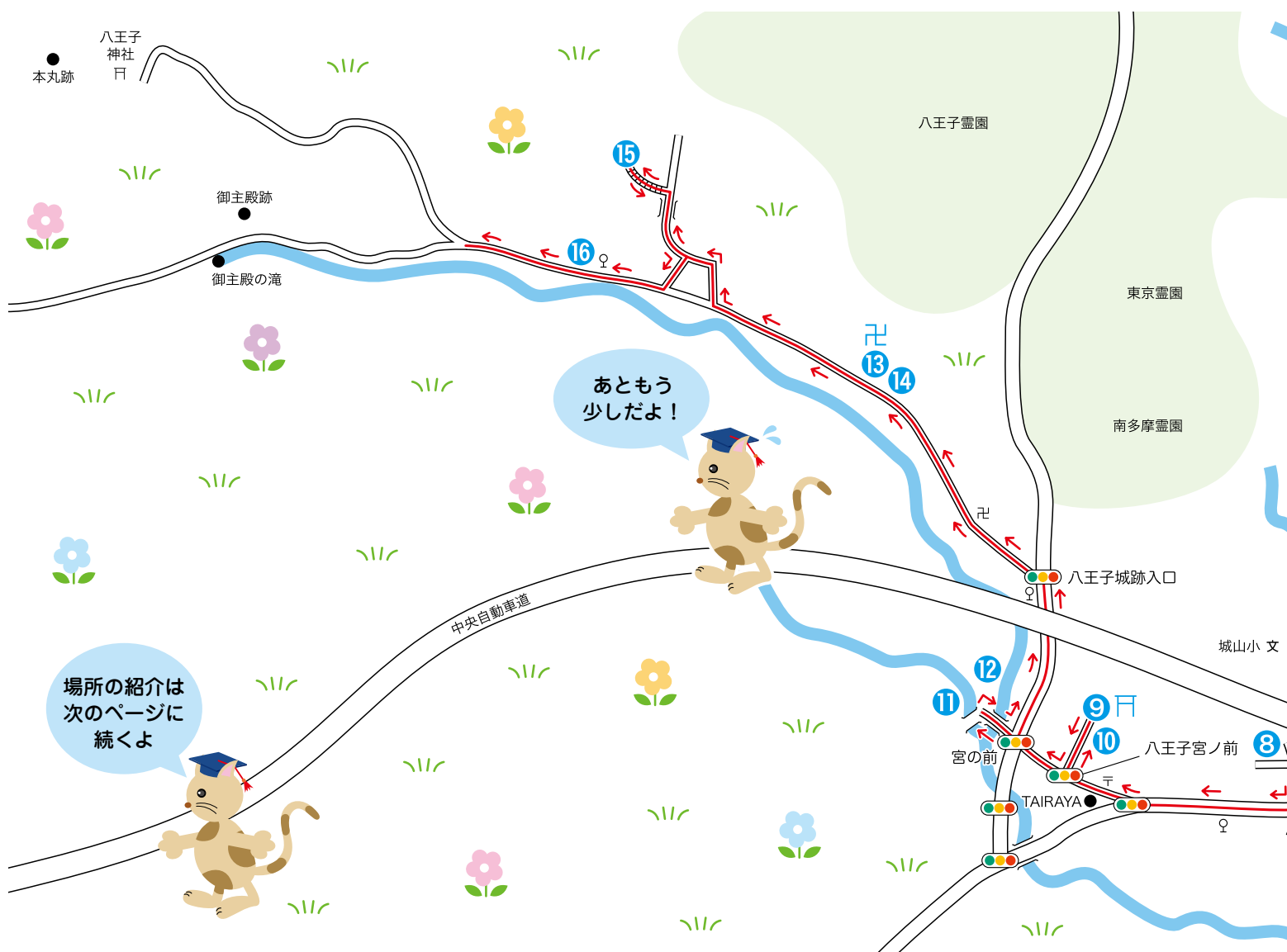
元八王子市民集会所や地区図書室、地域子ども家庭支援センターを併設。正面を走る高尾街道は、かつて道幅がかなり狭かったが、1964（昭和39）年に東京オリンピックの自転車競技用道路として拡幅整備された。

① 元八王子事務所



四谷交差点～ 八王子城跡

- ① 元八王子事務所
- ② 山口重兵衛の碑
- ③ 由比牧碑
- ④ 野堀川
- ⑤ 大沢川
- ⑥ 元八王子村慰霊碑
- ⑦ おついで地蔵
- ⑧ 武蔵太郎安国鍛刀地
- ⑨ 八幡神社
- ⑩ 梶原杉
- ⑪ 御霊谷川
- ⑫ 城山川
- ⑬ 宗閑寺
- ⑭ 宗閑寺の梵鐘
- ⑮ 北条氏照墓
- ⑯ 八王子城跡
ガイダンス施設



④ 野堀川



正面に「史蹟 由比牧址」と刻まれた碑。元八王子小学校の西側一帯は武分方原と呼ばれる広い平地であり、奈良・平安時代から鎌倉時代にかけて朝廷に献上する馬の飼育場「由比牧」として栄えたところと言われている。

③ 由比牧碑



「由比牧」を流れる小川。かつては両側に盛り土がされていたが、台風などのときにしばしば浸水を起こしたため、近年に改修工事がされ、コンクリートで固められた。川沿いには300メートルほどの緑道が整備されている。